

# 庄内協同ファームだより

No.159 2016年3月号



発行/

〒999-7631 山形県鶴岡市八色木字西野338  
tel.0235-78-2120 fax.0235-78-2140  
<http://www.shonafarm.com>



今年は正月明けまで雪が降らずエルニーニョによる暖冬なつかな?と思いましたが1月後半にドカ雪が降り除雪が大変でした。それ以降はいつもの冬といった感じになりました。やつぱり降るときに降らないと気候によつて作柄が大きく左右される農家としては安堵しています。昨年は全国的に台風、集中豪雨等の自然災害が所々で起きていて甚大な被害をもたらしていました。異常気象が恒常化して自然相手を生業としている者としては毎年悩まされる天候となつてます。今年はどのような天候になるのでしょうか?穏やかな1年であつてほしいものです。庄内協同ファームのある山形県庄内地方は自然災害の少ない地方と言われています。私なりには北にそびえ立つ鳥海山には大物忌(おおものいみ)神社、南には靈峰月山をはじめとする湯殿山、羽黒山からかなと考へています。ありがたい事です。

東日本大震災も今年で5年目に入り報道がほとんどなくなつて来ていて復興が進んでいます。庄内

今年は正月明けまで雪が降らずエルニーニョによる暖冬なつかな?と思いましたが1月後半にドカ雪が降り除雪が大変でした。それ以降はいつもの冬といった感じになりました。やつぱり降るときに降らないと気候によつて作柄が大きく左右される農家としては安堵しています。昨年は全国的に台風、集中豪雨等の自然災害が所々で起きていて甚大な被害をもたらしていました。異常気象が恒常化して自然相手を生業としている者としては毎年悩まされる天候となつてます。今年はどののような天候になるのでしょうか?穏やかな1年であつてほしいものです。庄内協同ファームのある山形県庄内地方は自然災害の少ない地方と言われています。私なりには北にそびえ立つ鳥海山には大物忌(おおものいみ)神社、南には靈峰月山をはじめとする湯殿山、羽黒山からかなと考へています。ありがたい事です。

TPPが大筋合意となりました。発動までもう少し時間が掛かると言われています。情報が少しずつ公開されるのを見ると、これから農業は大きく変化していくだろうと感じます。輸入が増え、農産物価格が下落するとか、これからは守りながら攻めの農業、輸出拡大をしなければならない等々が新聞で報道されていますが、実際にやって行かないといふ分からぬ部分が多いと感じます。今まで以上に経営感覚を磨いていかなければならぬと感じています。TPP発動に伴い高齢化も相まって意欲が無くなり農家を辞める人達が増えるのではないかとも感じています。農業は個人的なものだけではなく、地域経済にも大きく影響を与えます。農家の減少は地域経済の疲弊にも直結する側面があり危惧しています。

庄内協同ファームとしては今までの方針を継続しつつ、より安心して頂ける農産物をこれからも作っていきます。産直の基本である「顔の見える関係」にプラスして「心の見える関係」で皆様の信頼に応えていきたいと思います。宜しくお願い致します。

# もちつき交流

石垣忠彦

1月28、29日の1泊2日で福島県本宮市の仮設住宅の方々との餅つき交流に行ってきました。庄内協同ファームとの交流が行なわれて今年で4年目になります。きっかけはあいコープふくしまさんの秋祭りに参加した時に職員の方から福島の現状をお聞きし、避難者の方々に少しでも笑顔を取り戻してほしいという願いからでした。

初日はあいコープふくしまとの情報交換会です。「仮設住宅利用者は年々減ってきてるが身寄りの無い年配の方が残らざるをえない。イベントがあると遠方から戻ってくれ参加してくれるので主催者側としては有難く思っている。出て行く方は申し訳ないという思いがあり周りに何も告げずに出て行き、又、新転地では引け目を感じてか避難所から来たことを隠したがるという悩みを持っている。あいコープふくしまはそんな方々が話のできる拠り所になれるよう、避難者の支援はもちろん、イベントの開催、お父さん方の活躍できる場所をつくっていきたい」と話してくれました。見た目は少しずつ片付い



ているように見えるがまだまだ復興は進んでいない事、また、5年目になったからこそその問題がある事を知ることができました。

2日目はいよいよ餅つき交流会です。会場に着くと私たちが寒くないように焚き火を準備してくれる人、車からの荷降ろして手伝ってくれる人、テント建てを手伝ってくれる人、皆さんがいかにこの交流を楽しみにしてくれていたかが伝わってきました。

予定では若手で餅をつく予定でしたが、いざ始まるとなれば見守っていた先輩達が若い者には負けられないと言わんばかりに頑張ってくれました。最後に腰に手をあてながら「ああ～、こえ～(疲れた)」の言葉が会場で笑いを誘っていました。搗き立てのお餅はふわふわと柔らかく、雑煮やきなこ餅とあんこ餅として振舞われ美味しいと大変好評でした。

今回、意見交換の場、餅つきの会場準備、宿泊先などの手配をしてくれたあいコープ福島の皆様に感謝申し上げます。夏の庄内浜海水浴ツアーを楽しみにしています。



ぺったん! ぺったん!  
おいしいおもちにな~れ



商  
品  
紹  
介



# ひしもち

簡素化される傾向にあります。そんなひな祭りにちなんで、山形県産のよもぎを使用しています。ひな祭りを大いに彩ってくれるはずです。

3月3日はひな祭り。女の子の成長を願い、邪気を払う日本古来の節句として現代にまで受け継がれたものです。特に初節句は、家族と親戚関係を呼んで盛大に祝ったといふのが昔の習慣のようですが、今は社会の変化とともに年々

昔と比べて簡素化されてきたひな祭り、それでも現代のスタイルに合わせた形で日本古来からある文化を楽しんでみるのもまた一興です。その

彩り役として庄内協同ファームのひしもちを使用していただけるとありがたいです。



# 笹巻き



繁期になっています。周囲の風景も桜が咲き、新緑の時期に移り変わる頃、ここ庄内平野では「笹巻き」という商品がスーパー等に出回ります。今回は時期的に少し早いですが、「笹巻き」という商品を紹介いたします。

この「笹巻き」は『ちまき』の仲間で、一般的にはもち米を笹の葉や竹の皮などで、円錐形や三角形に巻き上げて蒸したものとされています。しかしこの「笹巻き」は蒸すのではなく、煮るのが特徴です。まだ曆の上では3月で農作業もぼちぼちという感じなのですが、これからだんだん農

また、笹の色や香りをつけるため、重曹を使います。同じ庄内でも地域によって巻き方や色が違います。鶴岡市は飴色、酒田市周辺は白、三川町はその中間の黄色で、巻き方も三角巻き、こぶし巻き、タケノコ巻きと有ります。

原料は、減農薬無化学肥料の「でわのもち」、家の周辺から採ったクマササ、結わえのスゲ、重曹、それと庄内協同ファームのきなこ、国産の黒砂糖主体の黒蜜です。ぜひ、ご賞味ください。

## NORI'S キッチン

もち米を使った春をテーマにした肉団子！ 団子の中に封じ込めた春菊の香りと、レンコンの歯ごたえと、もち米のモチモチ触感を楽しむ一品！ もち米に、古代米（白山紫黒米：ファーム商品）を混ぜ、団子に纏わせててもおしゃれかも！？

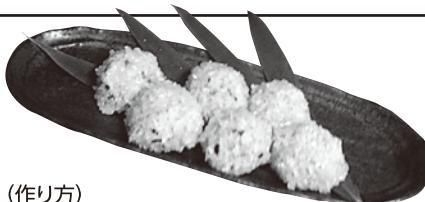
### ◎もち米蒸し肉団子（4人前）

材 料  
・鶏ひき肉 300g  
・もち米 100g  
・しょうが 一片  
・玉ねぎ 1/4個  
・炒め油 少々  
・塩 少々  
・胡椒 少々  
・顆粒鶏ガラだし 小さじ1

・醤油 小さじ1  
・卵黄 1/2個  
・片栗粉 大さじ1  
・辛子 適量  
・春菊 1/5束  
・レンコン 20g  
・しめじ 20g  
・塩 少々  
(A)

#### （作り方）

1. もち米を洗い、ざるで水気を切る。
2. しょうが、玉ねぎをみじん切りし、油で炒め、塩コショウをする。
3. 鶏ひき肉と、②を合わせ、塩、コショウ、顆粒鶏ガラだし、しょうゆ、卵黄、片栗粉をよく混ぜる。
4. (A)の食材をさっと茹で、水気を切り、軽く塩をしておく。
5. ③の一部(10分の1)を④とよく合わせ、肉団子の中身をつくる。
6. ③の合わせた鶏ひき肉の中に、⑤を入れ込み、3cm程度の団子を作る。
7. ⑥で出来た団子のまわりに、①のもち米をまとわせる。
8. 蒸し器に並べ、強火で20分蒸し、完成。
9. お好みで辛子醤油を添える。



小野寺 紀允  
農家レストランを  
きりもりする若旦那

ペ  
ン  
リ  
レ  
イ

# 徒然草

阿部正雄

あとがき



## 「今年はどんな年?」



2月に入り暦の上では春を迎えた。テレビでは、梅の花や菜の花が映し出され、まだ田んぼは真っ白な雪の中に埋まっています。

先日、庄内協同ファームで今年の稲作りに向けての資材の説明会が開かれました。有機資材の原料不足や、昨年に大きな問題となつた肥料成分の不当表示の影響で、有機資材は値上げ傾向となつてゐるところでした。米の過剰傾向で米価が低迷する中、農家の経営は厳しさを増す状況のようです。

今年もいよいよ稲作りが始まります。あれやこれやと思いを巡らせながら今年の稲作りに向け資材を選んだり、作業の計画を立てたり、少しづつ準備を始めていきます。来月には種糲の消毒も始まり、いよいよ稲作りがスタートします。今年の夏にはエルニーニョ現象が終わると言われていますが、終わつた後のほうが作物への影響が大きい、といったデータもあると云う事で、今後の天候も心配されます。1月には沖縄で観測史上初となる雪が観測されたり、2月には桜島が噴火し



たりと、今年も年の初めから異常気象が続き、あちこちでいろんな被害も出ているようです。

今年はいったいどんな年になるのだろうか?どんな天候になろうともしっかりととした対応が出来るようにならたいものです。

れ、昨年の病害虫の発生状況や今年の生産資材の紹介、価格動向について説明がありました。今年はエルニーニョ現象の影響なのか、暖冬傾向で、いつもの年より雪が少なめなもの、まだ田んぼは真っ白な雪の中に埋まっています。

先日、庄内協同ファームで今年の稲



## 「働く農機具」 温湯消毒器

稻の種子の表面には「いもち病」や「バカ苗病」等の病原菌が付着していることがあります。この機械は薬剤を使わず、お湯の温度を利用してそれら病原菌を殺菌します。お湯の温度は60°Cで10分浸して消毒します。その後すぐに冷水に漬け、粗熱を取ります。薬剤を使いませんが、温度には注意しないと発芽不良などを起こすので、気を使う作業です。

そして、ひな祭りに欠かせないアイテムと言えば、三色ひし餅があります。何故三色かと言うと緑は新緑新芽のイメージから「健康」、白は雪や残雪から「清淨・子孫繁栄・長寿」、ピンクは桃の花から「魔除け」(陰陽道では桃は魔除けの意味があるらしい)の意味があるそうです。

もちろん庄内協同ファームでも作っております!今号の商品紹介にもありますので是非ともご賞味ください!(笑)(白)

「冬の農家は暇なんじゃないの?」と思われる方も多いかもしませんが、意

思われる方も多いかもしませんが、意外なことにこの時期は申告やら次年度の計画やら各種集会の総会等で結構デスクワークが多いものなのです。まあ稻作仕事が無い分肉体労働は激減しますので樂と言えば樂なんですけどね(笑)3月に入ればそろそろ次の米作りが始まりますので、それまでのちょっとした息抜きですね。

さて、3月最初のイベントと言えばひな祭りがあります。元々はお祝いとは関係のなかつた平安時代に女の子が遊んでいた小さな人形遊びが人形を使つたお祓いの儀式と合体し、少しづつ「ひな祭り」と変化していく現在のひな祭りの形になつたのは今から400年ほど前だと言われています。

外なことこの時期は申告やら次年度の計画やら各種集会の総会等で結構デスクワークが多いものなのです。まあ稻作仕事が無い分肉体労働は激減しますので樂と言えば樂なんですけどね(笑)3月に入ればそろそろ次の米作りが始まりますので、それまでのちょっとした息抜きですね。

外なことこの時期は申告やら次年度の計画やら各種集会の総会等で結構デスクワークが多いものなのです。まあ稻作仕事が無い分肉体労働は激減しますので樂と言えば樂なんですけどね(笑)3月に入ればそろそろ次の米作りが始まりますので、それまでのちょっとした息抜きですね。